

県の取り組み

台風第19号による本市の甚大な浸水被害を受け、県(埼玉県行田県土整備事務所)でも忍川の浸水被害軽減対策としてさまざまな取り組みを行っています。

県の浸水被害軽減対策

- ① 堤防の嵩上げ工事
- ② 土砂撤去・樹木伐採
- ③ 河川監視カメラと水位観測計の設置
- ④ 浸水対策重点地域緊急事業
 - ・ 佐間水門から下流の河道改修
 - ・ 調節池の整備

堤防の嵩上げ工事(向町・緑町・佐間地区)



調節池の整備(下忍地区)

※令和8年度までに実施予定



土砂撤去・樹木伐採(持田・佐間・下忍・堤根地区)



(独)水資源機構の取り組み

独立行政法人水資源機構では、武蔵水路(都市用水)の取水・通水を停止して、地区内の排水を受け入れ、荒川に排水すること(内水排除)により、浸水被害の軽減を図っています。

内水排除とは?

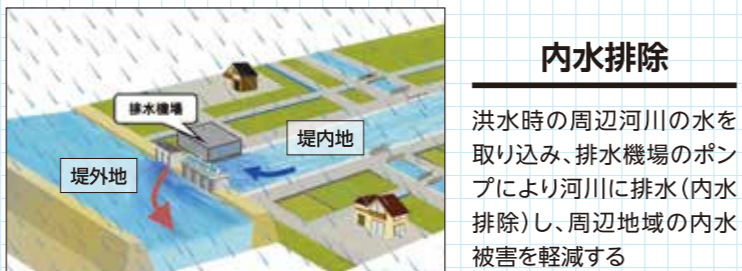
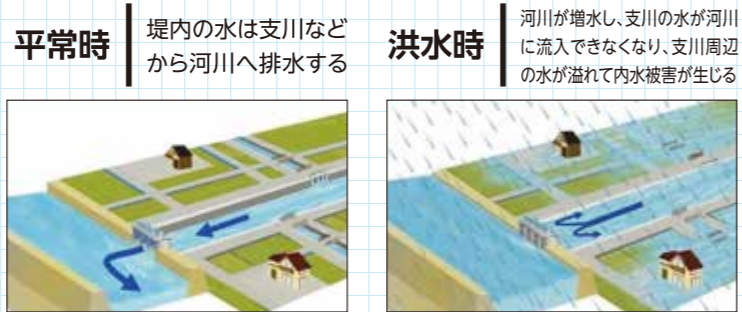


堤防から水が溢れなくても、河川へ排水する川や下水路の排水能力の不足が原因で、降った雨が堤防に囲まれた堤内地に湛水し、家屋や作物などへの被害が生じることを**内水被害**といい、堤内地の湛水や堤内小河川の水を堤外地に排水することを**内水排除**といいます。

武蔵水路の内水排除は、星川、野通川、忍川および元荒川流域の出水を水門および放流口から取り込み、最大50立方メートル毎秒で荒川に排水します。

▶問い合わせ 道路治水課(内線5717)

JAPAN Water Agency



水害に備える



これからの季節(8月~10月)は、台風の接近や集中豪雨など水害の発生リスクが高くなります。自身や家族を守るため、事前に準備をすることが大切です。

警戒レベルと避難

市では、気象情報などをもとに、防災行政無線や緊急速報メールなどで避難情報を発令しています。情報の把握に努め、警戒レベルに応じた行動をとりましょう。

警戒レベル	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保 命を守る最善の行動をとる
警戒レベル4までに全員避難	
4	避難指示 危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難 避難に時間の掛かる方は避難を開始
2	大雨・洪水注意報 避難の準備をはじめ
1	早期注意情報 情報収集に努める

避難所アプリを活用する

台風第19号の経験から、避難所開設情報および混雑状況を速やかに周知できるように避難所アプリを作成しました。ぜひご活用ください。

アプリの内容・特徴

- ・ 避難所の開設情報と混雑状況の公開
- ・ 混雑状況によりアイコンの色が変化

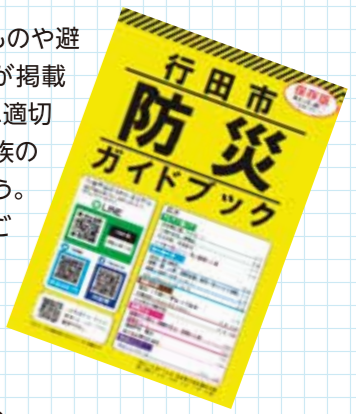
利用方法

- ① 二次元コードをスマートフォンで読み取る
- ② 表示される指定避難所一覧から開設状況を知りたい避難所の名称を選択する

防災ガイドブック

市では、昨年3月に「行田市防災ガイドブック」を作成し、全戸配布を行いました。

災害時に備えて用意をするものや避難のポイント、防災マップなどが掲載されています。いざというときに適切な行動がとれるよう、自身や家族の避難方法を確認しておきましょう。市ホームページで電子版もご覧になれます。



LINEで災害情報を知る

市公式LINEは、平時は行政情報や市の魅力などを発信していますが、災害時には緊急情報を迅速に発信しています。まだ登録がお済みでない方は、ぜひご登録ください。



出前講座をご利用ください

行田市まちづくり出前講座の一つである「災害に強い安全なまちづくり」では、危機管理課職員が災害に関する知識や普段の備えなどについて講義を行っています。利用方法など詳しくは市ホームページをご覧ください。

▶利用できる方 市内に在住・在勤・在学している10人以上で構成された団体

▶問い合わせ 同課(内線281)
※出前講座全般に関する問い合わせは生涯学習スポーツ課(内線5311)



出前講座の様子

赤ちゃんのための防災準備



赤ちゃんは大人と生活リズムが違い、我慢できません。市でも液体ミルクや使い捨て哺乳瓶、おむつを備蓄していますが、普段使い慣れたものを多めに蓄えておくなど家庭での備えが重要です。

必要な準備などは、市ホームページをご覧ください。

